平成28年度当初予算 予算要求シート

事業区分： 重点 マスタープラン： 3つの挑戦 / 低炭素 施策番号： 5-1 ・ 5-3 ・ 4-1 局・課名： 環境局・環境エネルギー課

事業名	省エネ設備等導入支援事業	事業費(千円)	平成26年度決算額	平成27年度予算額	平成28年度要求額	
		14,778		60,000	60,040	
事業概要	【目的】 市内の工場や事業所の省エネルギー化をさらに推進するため、トップレベルの省エネルギーを実現する先進的な取組に対し、その構成要素となる高効率な省エネ設備機器等を導入する費用の一部を支援する。	債務負担行為	期間		要求額(千円)	
			H ~ H			
		主な要求内容 (単位:千円)				
		項目	27年度予算	28年度要求額	内容・積算等	
		省エネ設備等導入支援事業	60,000	60,000	補助金	
			0	40	通信運搬費	
		合計	60,000	60,040		
	【内容】 事業所に省エネルギー性の高いシステムや高性能設備機器等を導入する費用の一部を支援する。 ○事業内容:省エネ設備等導入支援事業 ○対象者:エネルギー使用量が1,500kL/年未満の市内事業所 ○募集件数:20件程度(予算の範囲内) ○補助額:補助上限額:300万円、補助率1/3以内 ○補助要件:省エネ設備等を2種類以上導入することで、事業所全体の年間エネルギー使用量を5%以上または10t-CO2以上削減する事業					
	【今年度要求のポイント】 ・2030年度に2013年度比26%削減する新たな温室効果ガス削減目標が掲げられる中、“徹底した省エネ”が求められる。特に、冷媒にフロン類を含む老朽化した空調設備やエネルギー効率の低い水銀灯など照明設備等を高効率機器に更新することで、市内事業所の“徹底した省エネ”を確実に推進する。 ・また、EMSについては使用量の見える化やデマンド値を低減する上で有効な手法であることから、中小企業を含む幅広い事業所に対し効果の大きいEMSの導入等を新たに補助対象とし、中小企業等へのEMSの普及拡大に重点的に取り組む。					
		スケジュール(経過及び今後展開)				
		【経過(～27年度)】 ・業務系事業所省エネ対策支援事業(H25年度) ・省エネ設備等導入支援事業(H26、27年度)	【28年度】 5月下旬～12月下旬募集。随時、交付決定等を実施	【今後予定(29年度～)】		
		その他 特記事項				
		みんなの審査会対象外 27年度実績[10月末時点] 問合件数:200件以上、CO2削減量:388t以上、申請件数:製造業11件(金属加工、紡毛紡績、自転車製造、プラスチック製品製造、塗装加工、塗料製造、梱包材製造、石鹸製造、印刷業等)、非製造業14件(医療・社会福祉・学校施設、物流・倉庫、中小ビル、運送業、小売業、サービス業等) 主な改修内容:トップランナー基準適合高効率空調器、トップランナー基準適合変圧器、高効率冷凍機、インバーター制御コンプレッサ、高効率ボイラーへの更新、水銀灯等からLEDへの更新、インバーター改修、空調制御機器やEMSの導入等。				

整理番号： 10 - 2 - 0040